

「高崎プライド」 ～心と形を整える～

令和2年6月26日（金） NO10 文責 木下 文秋

育て！高崎プライド

今年は、職員と生徒が軸足を同じ方向に向けて学校生活を送れる「ことば」がほしいと考え、年度はじめに「高崎プライド」～心と形を整える～というキャッチフレーズを提案しました。以前学校便りで紹介しましたが「心」～優しく素直でたくましい心を持った生徒。「形」～誰に対しても返事と挨拶ができる人としての形を持った生徒。そんな生徒になるための努力を怠らないことが高崎中学校の誇り（プライド）として整理しています。しかし、今年はコロナの影響で集会がなく、生徒の前で高崎プライドの持つ意味や私の思いを語るチャンスがないまま今日まで来ています。しかし、日々の学校生活の中で、これこそ高崎プライドと思うようなことがたくさんあります。例えば、日々の給食時間の放送では「今日の誕生日」というコーナーがあり、その日は1年生の誕生日の紹介でした。呼ばれた名前は1年生の名前ですが、校長室の頭上にある3年生の教室から割れんばかりの拍手が聞こえます。他学年の生徒の誕生日に拍手を送る心優しい3年生がいます。また、最近では、朝の草抜きのボランティアが拡充していて、2～3人から始まったものが3年生に広がり、それが他学年にも浸透しています。この生徒達は本当にハートが伝わります。高崎中学校を母校とされる保護者の方もたくさんおられるはずです。そんなお父さんお母さんにとって、我が子を自分の母校に通わせることは嬉しいはずですし、生徒の皆さんには、母校となるこの学校で心と形をしっかりと整えられるような学校生活を送ってほしいと願います。そして、大人になって「あなたはどこの卒業生？」と尋ねられたとき「高崎中学校です」と誇らしく胸を張って言えるようになってほしいと思います。

コロナの影響を受けて

コロナの影響を受けて、体育大会や文化祭など多くの学校行事に制限を受けることとなりそうです。併せて、修学旅行も大きな懸案事項となっています。本日配布した7月の行事予定表をご確認ください。授業日が追加され終業式が7月31日（金）となっています。全国の移動が可能となる中、東京の感染者は増えつつあります。マスク着用の授業は受ける方も、授業をする先生方も悪戦苦闘しています。早くwithコロナの生活が収束してほしいと願うばかりです。